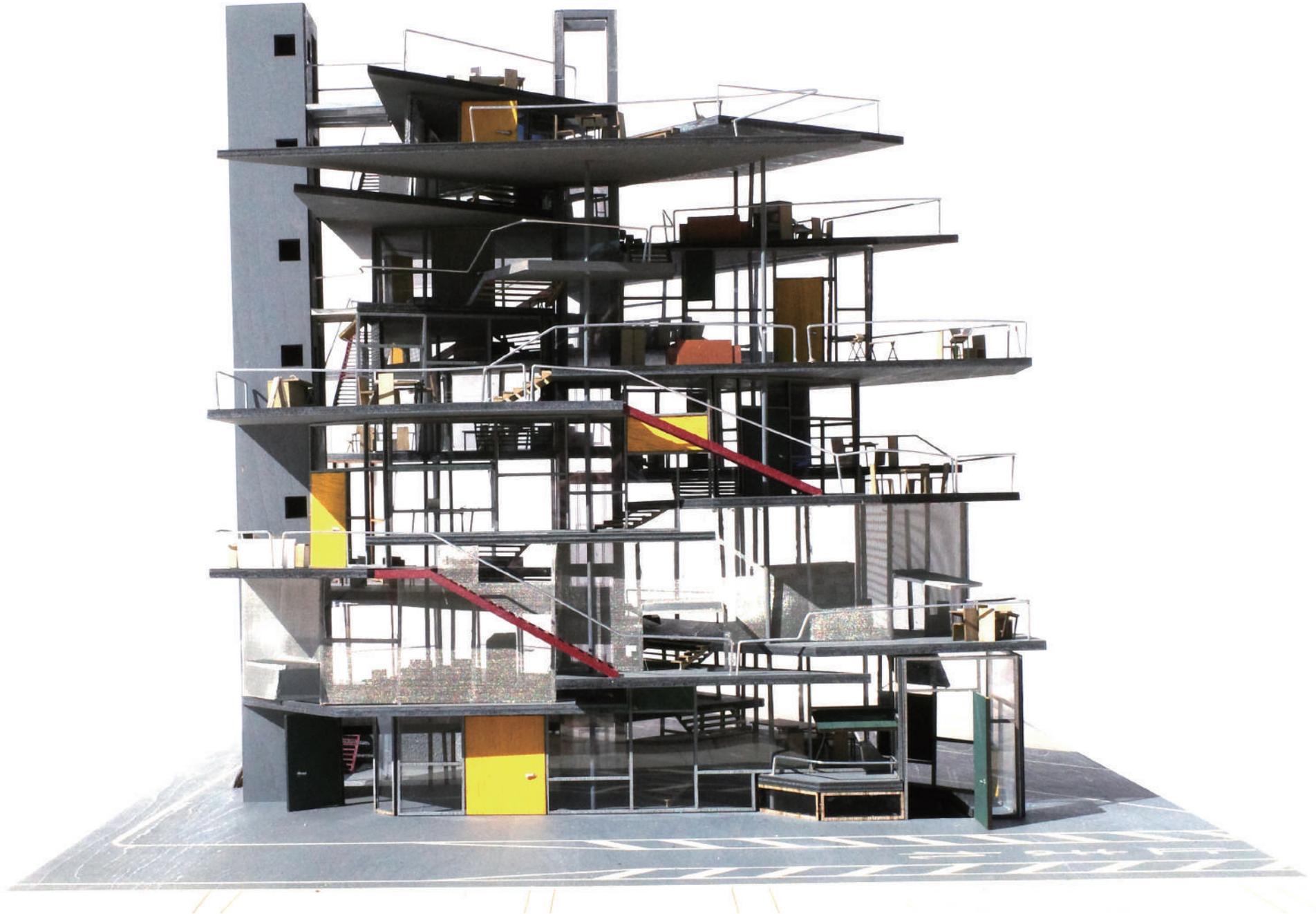


『心地よい雑然さ』

- 境界の干渉から考える空間の多様性 -

機能性を重視したモダニズム以降の建築は空間を単位に計画を行った為、単調になってしまった。
一方で下町のアノニマスな建築には「心地よい雑然さ」ともいべき空間が存在する。敷地の形状や周辺とのせめぎ合いなどが生み出す複雑さが境界面に見られる。
それ故、空間の質は多様であり可能性を感じるのである。

このプロジェクトは現代建築が抱えているヴォキャブラリー不足を解消するための
新たな建築設計ヴォキャブラリーを下町のアノニマスな建築から発見・確立し、東京都中央区八丁堀にワークプレイスを提案する。



01. 分析対象サンプル



---A 東京都北区宮前町 木組・牡丹 ---B 東京都台東区日本堤
 ---C 東京都中央区 錦 ---D 東京都品川区山手 ---E 東京都文京区本郷
 ---F 東京都中央区 錦 ---G 神奈川県横浜市南区中島町・弘明寺町・中里 ---H 神奈川県横浜市土谷区上菅田町
 ---I 大阪府大阪市北区中津 ---J 大阪府大阪市淀川区十三本町 ---K 京都府京都市中京区柳ヶ岡高野町
 ---L 神戸市

04. 「接続方法」と「素材」の組み合わせから成る「空間性質」の分析

本項では、前項で示された境界操作の「接続方法」と「素材」の関係性が設計の手掛かりを発見・確立することを目的とし分析していく。筆者が現地調査を通して発見した境界操作が顕著に見られる「町」のアンノミクス建築を対象とし「接続方法」と「素材」の組み合わせによって「顕著さ」が顕著に引き出されている事例をいくつか選定することで、「顕著さ」のメカニズムとメタフィジックを発見する。

分析の対象となる建築において前項で示すように17「接続方法」と8の「素材」パターンを明確にした上でそれらによって得られる「顕著さ」のパターンを抽出する。その際、対象となる実際の敷地及び周辺環境情報、発見できた主要な「接続方法」、「素材」、セリディンタイプなどを明確にすることで、それらの条件を踏まえた分析を行う。分析は「接続方法」の焦点を当てた分析、「素材」に焦点を当てた分析、そしてそれらの組み合わせによって作り出されている「空間性」の分析を行う。本論における「空間性」とは、「接続方法」と「素材」の組み合わせや配置場所によってある空間から異なる空間を認識もしくは認識することを促すと考えられる要因と定義する。そして、発見できた空間性文章のプロトタイプで行う設計オキヤクブリーに昇華するために、図式化定義する。そして、最後に「空間性」発見のフローをマトリクスにより体系化する。

02. 分析「接続方法」



03. 分析「素材」



B-01: 「隙間によるフレームング」の為の境界操作
 FRAMING by WALL
 代表的な施設事例
 A-01 立石神見里 (p.01)

DESCRIPTION
 ある既存の建物の改修工事の過程によって取り壊されたもののフィラーとして境界操作を行うことによりそれを顕著して見せたりすること

B-02: 「屋根によるフレームング」の為の境界操作
 FRAMING by ROOF
 代表的な施設事例
 J-01 中津島出陣 (p.01)

DESCRIPTION
 ある空間の前面に瓦葺(主に等)を屋根材の操作によって取り替えるためのフィラーとして境界操作を行うことによりそれを顕著して見せたりすること

B-03: 「屋根による開放性」の為の境界操作
 OPENNESS by ROOF
 代表的な施設事例
 A-05 立石神見里 (p.05)

DESCRIPTION
 ある空間に対して外部空間と視界を繋ぎ合わせる片完成度として境界操作を行うことにより空間に対して開放性を与えること

B-04: 「階段による誘引」の為の境界操作
 ATTRACTION by STAIR
 代表的な施設事例
 B-05 三平ハウス

DESCRIPTION
 ある既存のリフォームとは異なる階段や階等の付加物を取り入れることによって空間を縦断させ人々の誘引するような空間をつくること

B-05: 「床による領域拡張」の為の境界操作
 SPACE EXPANSION by FLOOR
 代表的な施設事例
 J-03 中津島出陣 (p.03)

DESCRIPTION
 いくつかの異なる空間に同一素材の床を配する境界操作を行うことで空間の領域を縦断に拡張しているかのように見せること

B-06: 「隙間による領域拡張」の為の境界操作
 SPACE EXPANSION by WALL
 代表的な施設事例
 K-02 十三本町出陣 (p.02)

DESCRIPTION
 いくつかの異なる空間に同一素材の壁を配する境界操作を行うことで空間の領域を縦断に拡張しているかのように見せること

B-07: 「柱・梁による領域拡張」の為の境界操作
 SPACE EXPANSION by COLUMN&BEAM
 代表的な施設事例
 D-01 島海工業

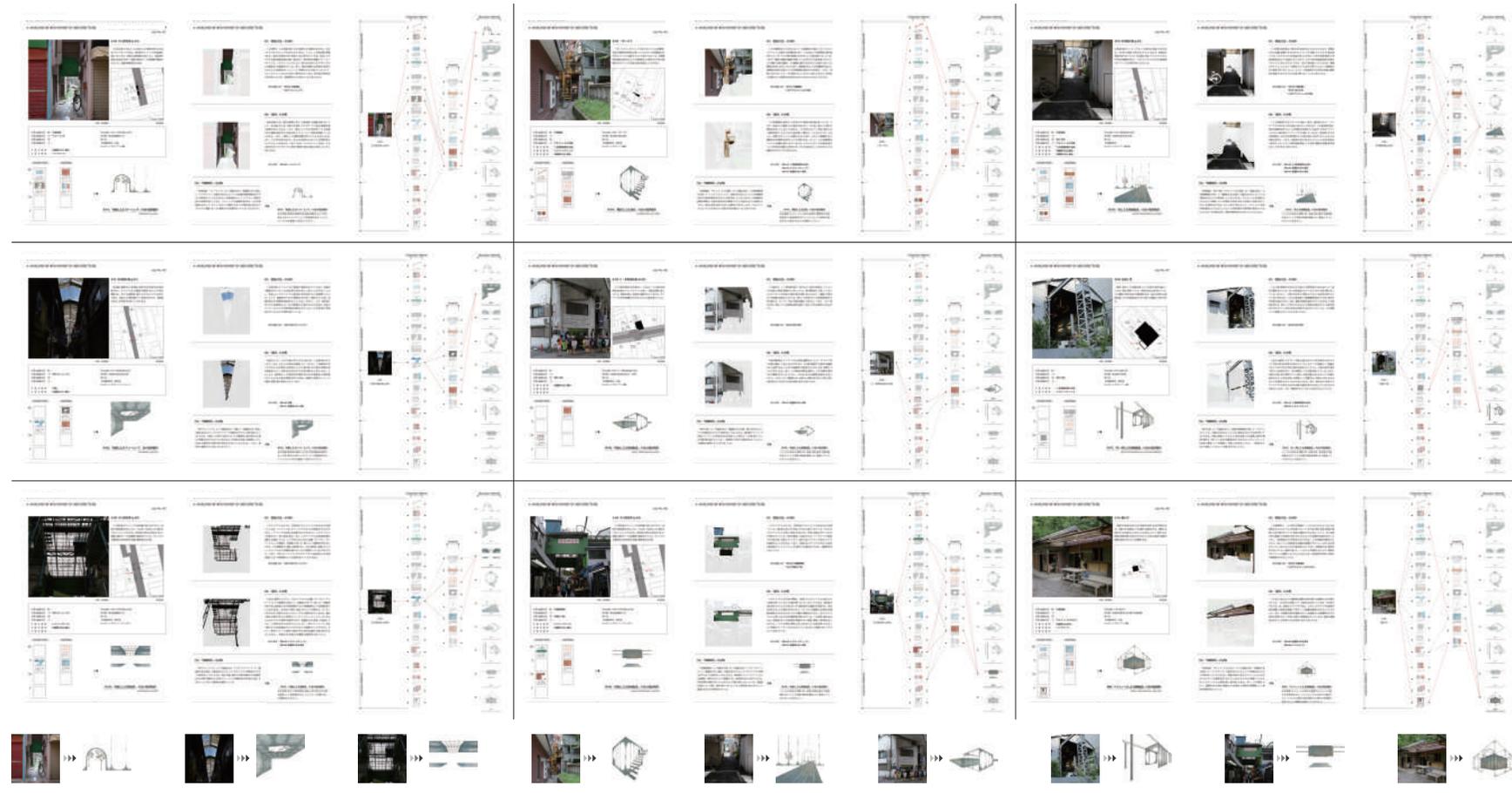
DESCRIPTION
 いくつかの異なる空間に同一素材の柱・梁を配する境界操作を行うことで空間の領域を縦断に拡張しているかのように見せること

B-08: 「屋根による領域拡張」の為の境界操作
 SPACE EXPANSION by ROOF
 代表的な施設事例
 A-04 立石神見里 (p.04)

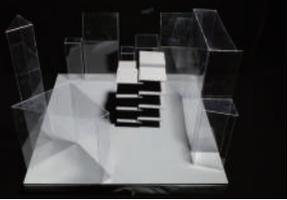
DESCRIPTION
 いくつかの異なる空間に同一素材の屋根を配する境界操作を行うことで空間の領域を縦断に拡張しているかのように見せること

B-09: 「ヴォリュームによる領域拡張」の為の境界操作
 SPACE EXPANSION by VOLUME
 代表的な施設事例
 L-01 環行亭

DESCRIPTION
 ある既存のリフォームを異なるヴォリュームに配する境界操作を行うことにより空間の領域を縦断に拡張しているかのように見せること



01. A-01 立石神見里 (p.01) ▶B-01: 隙間によるフレームング
 02. J-01 中津島出陣 (p.01) ▶B-02: 屋根によるフレームング
 03. A-05 立石神見里 (p.05) ▶B-03: 屋根による開放性
 04. B-05 三平ハウス ▶B-04: 階段による誘引
 05. J-03 中津島出陣 (p.03) ▶B-05: 床による領域拡張
 06. K-02 十三本町出陣 (p.02) ▶B-06: 隙間による領域拡張
 07. D-01 島海工業 ▶B-07: 柱・梁による領域拡張
 08. A-04 立石神見里 (p.04) ▶B-08: 屋根による領域拡張
 09. L-01 環行亭 ▶B-09: ヴォリュームによる領域拡張



スタディモデル 1

三角形敷地に基本形となる四角形平面で構成される、
花びら構造のストラクチャーを導入



スタディモデル 2

敷地形状に適用させる為に平面形状を変形する



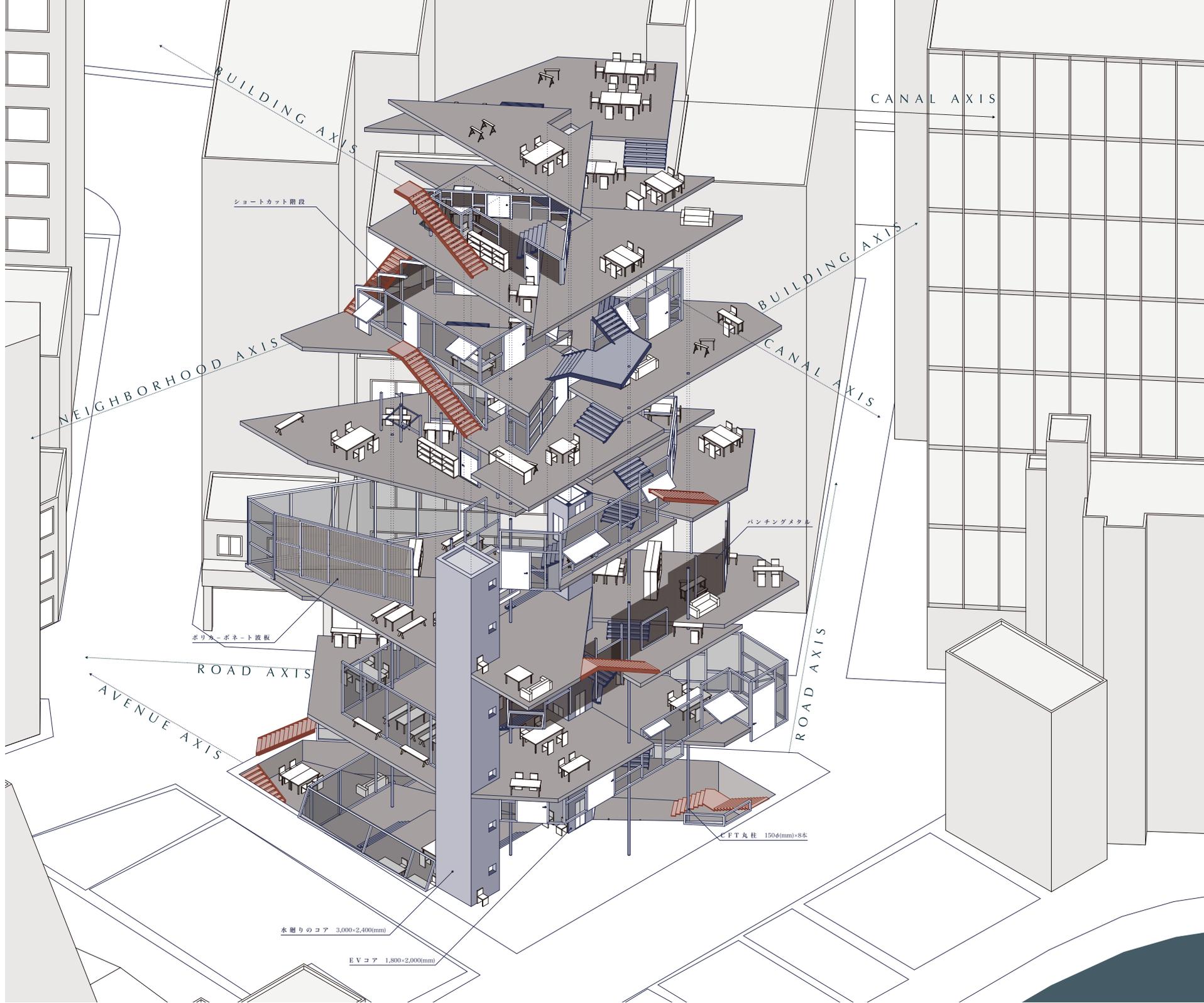
スタディモデル 3

断面的な関係性をつくりだす為に、各層のスラブを回転させる



スタディモデル 4

高さに応じて変化していく周辺環境に寄り添うように、
下層部分は敷地形状から引用した軸線を
上層部分では周辺の景色などに着目した軸線を引用するし
各層ごとの空間体験に変化を与えていく



水廻りのコア 3,000×2,400(mm)

EVコア 1,800×2,000(mm)

都市の大通りに面する北側ファサード

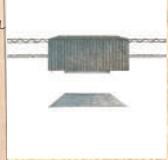
「階段による誘引」の為の境界操作

この建築の外部階段は「付加階段」と「システマティック」で構成されていることで建築とは異なる秩序で階段が成立し、人を誘引する



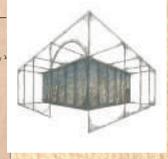
「屋根による領域拡張」の為の境界操作

上層部のスラブがバルコニーの底の役割をしながら、緩やかに外部空間を仕切る

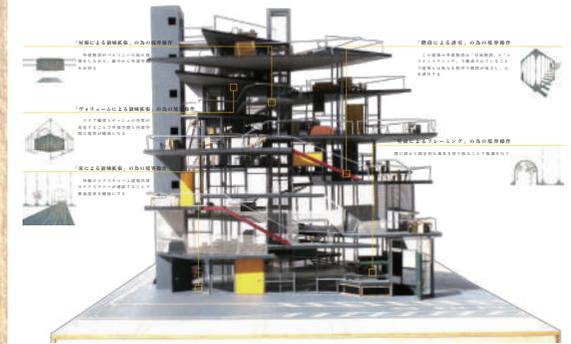


「ヴォリュームによる領域拡張」の為の境界操作

都市に面するマリオンの内外部小さなスケールのサッシュが配され「ヴォリュームの入れ子」が起こることで領域の曖昧性が生まれている



雑居ビル群に面する東側ファサード



高層ビル群と雑居ビル群の間に面する南側ファサード

